

名賀医師会 北森 祥子 様

(会長メッセージ代読)
産婦人科医、小児科医だけでなく数々の医師が妊婦を応援する。妊娠期数や既往により妊婦の対応や支援やケアに違いがある。特に、サイトメガロウイルス感染の対策、妊婦は感染しないように予防が大事である。そして、産後うつ病については肉体的・精神的負担が大きく、育児放棄や虐待に関連してくる恐れがある。そのため、早期に発見し総合的な支援が必要である。名賀医師会は妊婦を総合的に支援していく。

名張市議会 福田 博行 様

全会一致で議会が可決した。全会一致が大事。議長として、議員全員に子育てで養成本サポート講座を受講していただく。議員全体または議員個人で子育てを応援していくことを宣言する。

地域づくり代表者 小引 福夫 様

名張市長はキックオフ宣言を行い、ゴールまでの道筋ができた。地域はどのようなボールも受け止めることができる。我々は高齢者包括ケアに力をいれて取り組んできたが、今回は妊婦、乳幼児もということで、高齢者の知識、経験を育児にも生かしていきたい。“地域の子どもは地域で育てる”をキャッチフレーズとして地域づくりに力を入れていきたい。

子育て支援員 渡邊 玲子 様

少しでも、ママだけの時間を過ごすことができるようにと、美旗ですくすく託児を地域限定で始めた。子育ては子どもが小さい時は楽しさより、不安や心配ごとのほうが多く感じる。子育ては体力が必要でついつい頑張りすぎてしまう。周りにはその頑張りを認めてくれる人や頼れる人が必ずいます。ママは1人じゃないってことを忘れないで。

サークル連絡協議会 守屋 さおり 様

自分自身の妊娠期は不安で孤独で、妊娠が分かってから母子手帳発行まで時間が長く感じた。妊娠が分かってから嬉しい気持ちと不安な気持ちがあり、妊娠が分かった時点からのサポートがあればいいのと感じた。名張市は子育てサポートが充実している。妊婦は1人で悩まず、自分に合ったサポートを見つけて、妊娠・育児を楽しんでほしいと思う。

伊賀薬剤師会 赤井 一彦 様

昔、ある小さな子どもに風邪薬を調合していた。その子どもは苦い薬が苦手な飲み方を指導していた。そして、子どもが成長して、妊婦になってくれた。インターネットなど手軽に薬剤が購入できるが、「いつでも自由に相談するように」と声をかけた。薬剤師会はこれからも妊婦さん、お母さんを応援していく。

伊賀歯科医師会 村田 省三 様

地域の個性や特性を活かした健康相談・教育・指導を行い、歯科治療をおこなっていく。みなさまにメッセージを発信していく。気軽に相談や意見をご連絡ください。精一杯、地域の歯科保健活動を展開していく。

名張商工会議所 増岡 孝則 様

現在、中小企業が経済を動かしているといわれている。その企業を稼働させているのが我々の仕事である。第1子の出産、育児時に夫の協力があれば、順調に第2子以降の妊娠へと繋がっていくといわれている。そのため、仕事と家庭の環境を充実させていくことが大事である。企業の理解や協力を得て、妊娠・子育てができることを目標にして取り組んでいきたい。

伊賀南部農業協同組合 夏秋 可則 様

JAでは地域貢献活動として、母子手帳ケースを産婦に贈呈している。日本の将来を担っていく子どもを育てていくために、安心安全な農作物の供給をおこない、元気な赤ちゃんが生まれてくるように、頑張るママの応援をしていきたい。

名張市社会福祉協議会 奥村 和子 様

保育事業として、マイ保育ステーションを開設している。子育て・出産の不安を抱えたお母さんが相談に訪れている。“かざみどり”の名称で活動をしており、その活動を充実させていきたい。また、子育てサポーターの養成にも取り組んでいきたい。宣言を得て、妊婦から高齢者までをサポートする社会福祉協議会を目指していく。

三重県立看護大学

地域交流センター 宮崎 つた子 様

子育て支援員研修の企画に協力してきた。名張市は全国的に大変有名。素晴らしい活動をしている。支援者の養成に力が入っており、市民の活動が原動力になっている。全国のモデルとして妊娠期からの支援を市民の力で取り組んでほしい。

伊賀児童相談所 森本 良一 様

児童虐待など安全確認をおこなっている。児童虐待は事後対応よりも、発生子防が大切である。そのためには妊産婦や子育て家庭を地域の中でしっかりと支えていくことが大切である。名張市民の皆様にはいつの日か「名張には児童相談所は必要ない。」と言ってもらえる日が訪れれば嬉しく思う。

児童家庭支援センター 山口 伴尚 様

事情により、家庭で暮らせない子を育てていく施設である。子育てにおいて専門的な相談も行っている。今回の宣言はとても大事なことであり、行政としても様々な取り組みを進めていくことだろう。しかし、それ以上に大切なことは地域、市民がらみで妊婦を大切にしていくこと。子どもを産み育てる優しい街、名張の実現に向けて応援していきたい。

妊婦応援都市宣言 キックオフ大会

平成29年12月3日(日)
午後1時30分～午後3時40分

名張市防災センター
講堂(1階)・講堂2階

- 定員200名
- 申込み不要
- 託児が必要な方はご連絡ください

主催：名張市
後援：三重県

妊婦応援都市宣言

名張市の妊娠期からの切れ目ない支援
こそでサポート養成講座について

基調講演 応援メッセージ 概要

妊産婦・子育て世代に誰もが暮らしやすい状況と健康、国における課題

約20団体のみなさまより わたしたちにできること

厚生労働省 子ども家庭局長 吉田 学氏

問い合わせ先
名張市役所
健康・子育て支援室
電話 0595-63-6970

私たちは、一人ひとりが子育てに合った心身のほぐしや、発育から平等でかけがえのない存在です。すべての市民が、自らの命とともに妊娠や子育ての子どもを大切に、風土を醸成する必要があります。

主任児童委員部会 竹中 智恵美 様

健康子育て支援室と共に、生後2ヶ月の赤ちゃん訪問に伺っている。訪問時には予防接種の説明や子育て広場など、母親に説明をおこなっている。“近所のおせっかいおばさん”として行政各所への橋渡しとしての役割や核家族が多い中で地域全体を大きな家族として子育て支援をしていきたい。

保育園保育所施設長会 竹島 美加子 様

産後、不安の無い快適な毎日を過ごすことができるように、保育園として声掛けや見守り、兄弟のサポートなど、妊婦や母親を全面的にサポートしていきたい。また、近年では核家族が増えてきており、産前産後の支援者不足の方が増えてきた。保育園としても母の話を傾聴し、不安軽減のために専門機関とも協力をしていきたい。保育園でできる支援を続けていきたい。

三重県助産師会 林 みち子 様

(配布したハート型の折り紙とその中心に開いた穴を見て)
受精卵はあなたの命のはじまりでハート型の紙はお母さんの子宮の大きさです。みんな一番好きな両親のもとに生まれてきた。みんな例外なく子宮出身の地球人である。妊娠・出産は奇跡の瞬間の連続である。妊娠・出産には参加できなくても、育児には誰でも関わることができる。社会の一員として支えることはできる。

児童発達支援センターどれみ 森 由佳 様

子どもの発達支援は胎児期から育まれている。子どもたちの中では生きることに精一杯な子どももいる。すべての子どもが生きる力をもっており、子どもが成長していく上で喜びや葛藤など様々な経験をしていく。その経験を分かち合い、どのような状況においても子ども達が豊かに、健やかに育まれるように支援していきたい。